

2022(令和4)年度沖縄県若年性認知症支援推進事業  
本人家族交流会 若年性認知症カフェ 報告書

**若年性認知症カフェ**

目的：若年性認知症カフェ内で、ご本人と介護家族の交流を深め、孤立しやすい若年性認知症のご本人と介護家族のネットワークづくりを促す。

当カフェの特性

- ・ 孤立する県内の当事者及びその支援者にピアカウンセリングの場を提供する。  
就労型活動自助グループの活動の場として提供し、当日初めて参加される当事者とその家族との交流を、自助グループの方に積極的に行っていただけるよう依頼している。
- ・ 経験と技能を活かす場をめざす。交流会の場も活動の場として提供し、それぞれの活躍の場を増やすよう支援する。例：ギターや英会話などそれぞれの特技を活かした教室の開催等
- ・ カフェ内で当事者の意見を活発に頂く。施策へ反映されるよう、意見をまとめる。

1. 日時：2023年3月18日(土) 1回目：13時～14時 2回目：13時～14時 定員各6名程度  
【会場】 新オレンジサポート室（宜野湾市普天間1-9-3）

2. 本日のプログラム 各1回：交流会（近況報告）

3. 参加者数 1回目 10人（内訳：当事者0名、家族6名、専門職3名、一般1名）  
2回目 6人（内訳：当事者1名、家族3名、専門職2名）専門職サポート含む

4. 当日の様子

今年度最期のカフェとなりました。清明祭の為か？石垣の墓参りに行くのでレスパイト利用中との報告や、先週土曜にアガペ会で行われた“ちむゆる会”（毎月第二土曜に開催）でユニチャームの「オムツ講座」を受講してきた方からは、改めてオムツについて勉強する機会となった。今使用しているオムツ適切ではないと振り返った。前にも同じ講座聞いた事があるが、介護しているその時その時で自分の興味のあるものしか頭に残ってないと感じた等、日々の新しい発見の報告もあった。カフェで話に出た事を帰宅後に話の整理をしているという方も居た。

5. 所感

予約制ではありますが、カフェで出会い、その時に会話した内容で心癒されたり、他の方からの情報を聞く事で誰かの助けになっている。そんなピアカウンセリングの大切な場所。今年度はコロナ禍お休みせず、毎月開催出来ましたこと…支えて頂いた専門職の皆様にも感謝の気持ちでいっぱいです。去った25日に行った一般講演会動画配信の案内もしました。お土産は毎月協力頂いている理学療法士の宮里さんが作ったチーズケーキです♪



以上